

東京 肝臓のひろば

平成 30 年(2018 年)2 月号 第 222 号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-26-1001
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会
<http://www.tokankai.com>

「松の腹巻きとり」 —山形県鶴岡市・鶴岡公園— きり絵・佐藤廣士さん



新しい年を迎えて

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

理事長 赤塚 堯

2018年最初の会報になります。新年を迎えて会員の皆様、当法人へのご理解とご支援をくださった皆様に心から感謝を申し上げます。そして今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の冬は数十年ぶりの寒さで日本中震えあがっていますが、みなさまお元気で新しい年を迎えましたでしょうか。どうぞお体を大事にしてお過ごしください。今年は穏やかな年でありませう心から願っております。

肝臓病をめぐる状況はC型肝炎の新薬が次々に開発実用化され、治療率が顕著に向上しC型肝炎は治る時代になりました。ウイルス排除はまだですがB型肝炎もウイルスを抑え、安定した状態を維持できる薬を、多くの患者が服用で

きるようになりました。患者会の目標の肝炎撲滅がさらに大きく前進しました。

しかし、一方ではこの新薬の恩恵にも授かれず、重度の肝硬変、肝がんが苦しんでいるC型肝炎の患者さんがいます。そしてB型肝炎の方々、原因も治療法も確立していない自己免疫性肝疾患の方々もたくさんおられます。NPO法人東京肝臓友の会の役割はまだ大きなものがあると思っております。

政府は平成30年度予算案の中で私たちの念願である「肝硬変、肝がん患者への医療費助成制度」のための予算を組みましたが、その内容は私たちの要望からは程遠いもので、さらなる充実を求めて国会請願や議員への働きかけを強めます。他の患者団体ともしっかりと

手を組み、一歩でも二歩でも前進するようがんばりたいと思います。会員の皆様をはじめ、肝臓学会や専門医の先生方、また、私たちの活動に協賛してくださる団体、企業の皆様の暖かいご支援、ご協力を今年も引き続き寄せてくださいますよう心からお願ひ申し上げます。

最後に新しく迎えた年が皆様にとって良い年になることを祈念いたします。



●もくじ

東京肝臓のひろば 222号

新しい年を迎えて 2

東京肝臓友の会理事長 赤塚 堯

「B型肝炎患者が知っておきたいこと」.. 3

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野 教授 四柳 宏 先生

ラジオNIKKEI 大人のラヂオ

第9回「肝硬変」 前編 15

都立駒込病院肝臓内科部長 木村 公則 先生

PBC・AIH・PSC通信 25

ジコメン・シンヤク あれこれ 寄稿 26

帝京大学医学部付属病院 田中 篤 先生

東京肝臓友の会 活動日誌(12月、1月) 28

情報BOX 29

患者会からの行事案内
講演会のご案内

公益財団法人 宮川庚子記念研究財団主催 医療講演会

「B型肝炎患者が

知っておきたいこと」

【日時】 2017年10月8日(日) 13時30分~14時00分

【場所】 ステーションコンファレンス東京

(東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー4階)



演者

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター
感染症分野 教授 四柳 宏 先生

四柳 あまり難しくなく、お話をするつもりではあるのですが、わかりにならないところ等がありましたら、お止めいただいたり、手を挙げていただければ、お答えをさせていただきます。

皆様方のほとんどは、ご本人あるいはご家族がB型肝炎の患者さんだろうと理解をしております。いろいろな方がいろいろな問題を抱えているのだと思います。その最大公約数でお話をさせていただきますわけですが、全体として、こんなこととお話しさせていただければと思います(図1)。

1. B型肝炎の感染経路

最初は感染経路のお話をさせていただきます。私たちの体には、口の中にも、お腹の中にも皮膚の上にも、微生物が必ずいます。これが全くないと私たちは生きていけません。ここにいらっしやるすべての方が、体のいろいろなところにたくさん病原微生物を持っているので、このスライドに書かれた「微生物

物の感染経路」とは、私たちが持っている微生物ではなくて、体外に存在する微生物が新しく感染をして病気を起こすものです(図2)。例えばインフルエンザとか、冬場にはやるノロウイルスとか、今年はそのほとんどありませんでしたが、夏場に多いO157を中心とする病原大腸菌感染症とか、いろいろなものがあります。

その侵入門戸はいろいろあります。風邪やインフルエンザは、のどや鼻の粘膜といった空気の通り道(気道)を通じて普通に入ってきます。ノロウイルスやO157とかは、食べ物と一緒に入ってお腹に感染をしていく。それ

れからウイルス肝炎は輸血からの感染が典型ですが、それ以外にも、例えば皆さんが家事をなさって、皮膚の表面

本日のお話

- B型肝炎の感染経路
- B型肝炎ウイルスキャリアへの対策
- B型肝炎の治療
- 肝細胞がんを防ぐために

微生物の感染経路

- 微生物が私たちのからだの中に入る経路としては、次のようなものがあげられます。
- 鼻や口などから……かぜ、インフルエンザ、はしかなど
- 食べ物を通して……ノロウイルス感染症、病原大腸菌感染症など
- 傷などを通して……ウイルス肝炎、ブドウ球菌感染症など



図2

B型肝炎は
 “ウイルスを含んだ血液・体液”が
 “傷のある皮膚・粘膜”から体内に侵入する”
 ことにより感染します

感染の起こる機会	ウイルスを含む体液	侵入する場所
皮膚と皮膚の触れ合う運動 (相撲・ラグビーなど)	汗・血液	ぶつかった際に生じた皮膚の傷
カミソリの共用	カミソリの刃についた血液	カミソリでついた皮膚の傷
歯ブラシの共用	歯ブラシについた血液・唾液	歯磨きの際に歯肉についた傷
噛み付き	唾液	噛み付かれた際に皮膚についた傷
性交渉	精液・粘液	性器の粘膜

図3

肝炎ウイルスに感染する可能性のある行為



図4

に包丁か何かでつけてしまった傷にウイルスが付けば、そこから侵入をする。そのような経由で感染をします。夏場ですと、食中毒の1つにブドウ球菌感染症があります。病院内ですとMRSAという名前でお聞きになったことがありではないかと思えます。ブドウ球菌なども傷などを通して広がります。B型肝炎は、基本的には傷を通して感染します。このスライドに示した5項目は、どれも皮膚や粘膜に傷をつける可能性がある行為です

(図3)。傷がついた皮膚や粘膜から血液や体液が入ると、感染を起こして行く場合があることは、先ほどの傷の話からご理解いただけると思います。この5つの行為、例えばカミソリや歯ブラシの共用、体と体がぶつかり合うような激しいスポーツ、それから保育園で問題になるような、噛みついたり噛みつかれたりすること。それから性交渉の際の粘膜等についた傷から、といったことが感染経路になります。

私はこういったガイドラインを厚生労働省の肝炎対策研究班の班員の先生とご一緒に作りました(図4)。要は、傷のついた皮膚や粘膜に、ウイルスの入った体液や血液がつかなければ感染しないのです。簡単に起こることではありません。例えば皮膚と皮膚が直接触れ合うような行為でなければ、ヒト同士の感染は起こりません。

ですから、感染が起こる可能性が高いのは、夫婦も含めて家族ということになりますし、あとは怪我することになり、機会が多い保育園や学校といったところでは、明らかに触れ合う機会がなければ、普通はありません。職場で肌と肌が直接触れ合うことは、いっしょに旅行する機会等があれば、あるのかもしれませんが、滅多に起こりません。大人になってからの感染は、性行為がぐらいいし、か起こらないだろうとお考えいただいていると思います。このスライドは感染をする可能性の低い、肌と肌とが直接に触れ合うことがない行為を示したもので

(5)

す(図5)。このうち一緒に鍋をついてどうかということとはよく尋ねられることです。本来、取り箸でついでにいただいたほうがいいのは間違いありませんが、ご自分の箸を鍋に入れることもあります。そこには確かにご自分の唾液が微量についているかもしれません。しかし、鍋の中に入っても薄められまじ、加熱もされます。口の中に出血している傷があれば別ですが、通常はないだろうと思えますので、鍋をついたことが原因で他人に感染することは、基本的にありません。

回し飲みも全く同じ理屈です。ボトルの縁に感染した人の唾液がついて、回し飲みをすると、確かに唾液自体は口に入るかもしれませんが、口の中に傷がなければウイルスが体内に入ることはないのですから、感染はしません。ただし、ウイルス肝炎だけではなく、例えば食中毒の原因となるようなものも口の中に入る可能性はあるわけですから、やはり回し飲みはしないに越したことはありません。

プールに入るのも、お風呂に入るのも全く同じです。血液には、比

較的多量のウイルスが入っています(核酸アナログ製剤を飲まれると速やかに減ります)。しかし、血液が出てくるままでお風呂やプールに入る人は、普通はいないと思えます。傷があれば、普通は絆創膏などで覆うか、女性の方が生理中であれば、入らないことが多いだろうと思えますし、あるいはタンポンをされて入るだろうと思えます。血が出て入る状態の水の中に入ること

は、ほとんどないと思えます。汗の中に微量のウイルスが出る場合も

ないとは言えませんが、それで感染することはお子さん以外はずりませんし、一緒にプールやお風呂に入ることは、まず問題ないだろうと思えます。

あとはトイレの共有について、皆さんたちがどのようにトイレを使われているかを見たことは当然ありませんが、トイレに入ると、血のついたものが床に置いてあったり、血液がついていたり、(私はもちろん女子トイレには入れませんが)、男子トイレしか知りませんが、男

子トイレでも、鼻血とかが出たあとかなと思うようなことには時々遭遇します。そういったことで便器が汚れている場合は、直接お尻がつくところですので、できれば拭き取っていただきたいと思います。しかしお尻に傷がなければウイルスは入らないわけですから、基本的には感染しないだろうと思えます。

キスという行為に関しても同じで、激しい場合は別なのかもしれませんが、通常のキスでは感染は起こらないと言っているかと思えます。

感染する可能性の低い行為

感染の起こることが心配な機会	感染のリスク	注意点
鍋をつつく	ない	唾液の中には多くの細菌が存在するため、直接箸を入れない方がよい。(すべての人が対象)
回し飲み	ない	唾液の中には多くの細菌が存在するため、回し飲みやコップの共用はしない方がよい(すべての人が対象)
一緒に入浴する プールと一緒に入る	低い	血液が出ている場合(月経・怪我)は避けた方が安心
トイレの共有	極めて低い	月経・痔からの出血などで便器の皮膚接触面を汚した場合、きちんと拭き取り、ビニールにくるんで捨てる。
キス	低い	傷のない頬へのキスはゼロリスク

図5

肝炎ウイルスに感染する可能性のない行為

血液・体液が体内に入る可能性の低い行為

清潔な(血液や体液がついてない)場所への接触・共有も大丈夫!

- 椅子・ドアノブ・床
- 公衆トイレ
- 筆記用具
- 食器
- シャワー・浴槽

図6

編集人・東京肝臓友の会 ○三(五九八二)二二五〇 〒161-0033 東京都新宿区下落合三ー一四ー二六ー一〇〇一
発行人・障害者団体定期刊行物協会 ○三(六二七七)九六一一 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷三ー一七ー一〇二

東京肝臓友の会主催 医療講演会のお知らせ

「B型C型慢性肝炎、肝硬変、肝がん、これから治療する人、治療が終わった人へ」

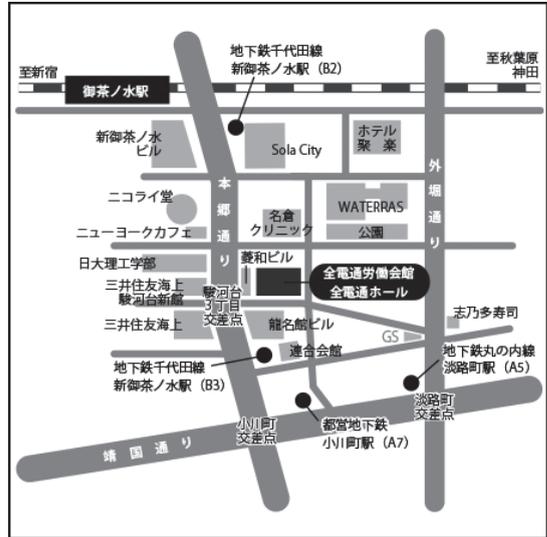
B型、C型肝炎と肝硬変、肝がんのこれからの治療や、C型肝炎ウイルス駆除後に気をつけなければならないことなどについて、泉先生に詳しくお話いただけます。治ったからといって安心はできません。ぜひお越しください。

日時：**3月21日(祝)**
14:00～16:00

場所：全電通会館ホール
千代田区神田駿河台3-6
JR御茶ノ水駅 徒歩5分

講師：泉 並木 先生
武蔵野赤十字病院院長

申込：要(同封チラシ参照)



同病者による面談相談

☆新薬のこと、治療のこと、なんでもお気軽にご相談ください☆

日時：**3月30日(金)・4月30日(月・休)**

13時30分～16時30分(1人1時間)

場所：東京都障害者福祉会館1階 相談室

対象：東京都在住、在勤の方優先

主催：東京都

相談料：無料(予約制)

相談員：米澤敦子(東京肝臓友の会事務局長)

申込方法

電話でお申し込みください。

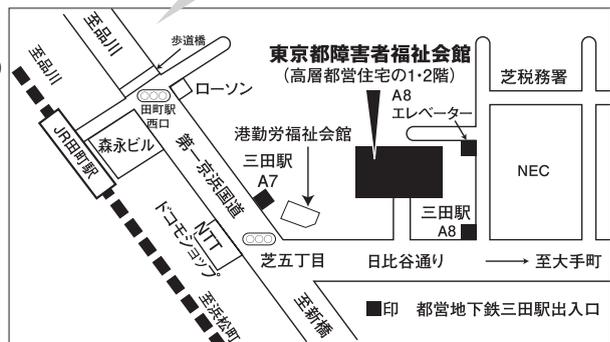
【申込先】都障害者福祉会館相談係

〒108-0014 港区芝5-18-2

電話 03(3455)6321

【交通案内】

- ◆ JR [田町駅]西口徒歩5分
- ◆ 都営三田線「三田駅」出口 A8 徒歩1分
- ◆ 都営浅草線「三田駅」出口 A7 徒歩1分



本会報掲載の記事を転載する場合はご連絡ください。

頒布価格500円(会費に含まれている)